

令和3年度 第1回 湯沢市総合振興計画審議会 議事録

- 1 日 時 令和3年8月10日(水) 10:00～11:30
- 2 会 場 湯沢市役所本庁舎4階 会議室43・44
- 3 出席委員 (敬称略) **【出席14名】**
阿部昭子(湯沢商工会議所)、高嶋伸夫(ゆざわ小町商工会)、
佐々木房子(こまち農業協同組合)、山脇幹(湯沢市観光物産協会)、
中山孝子(湯沢市社会福祉協議会)、後藤美喜子(湯沢市体育協会)、
土田忠明(湯沢地区自治協議会)、大山茂(湯沢7地区自治連絡協議会)、
遠藤幸作(稲川地域自治連絡協議会)、戸部緑(雄勝野づくり連絡協議会)、
小野田敏昭(皆瀬地域自治組織地域づくり委員会)、寺門敏子(NPO法人サポートセンタービーイング)、
築瀬栄美子((同)トマトクリエイション)、齋藤あゆみ(地域おこし協力隊)
【欠席2名】
村上美奈子(湯沢青年会議所)、高橋章(湯沢市雄勝郡医師会)
- 4 案 件 (1) 第2次湯沢市総合振興計画の進行状況について
(2) 湯沢市過疎地域持続的発展計画(案)について



案件での発言要旨

案件（1）について

（事務局から資料について説明）

- | | |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○委員 | 第5章第1節①情報伝達居住域カバー率の中で、デジタル防災行政無線の整備とあるが、音声など聞き取りにくく、緊急の際にはっきり聞き取れるように改善してほしい。 |
| ●市 | 市へも防災行政無線が聞き取りにくいという意見が寄せられています。4月から運用したこともあり、現在、色々試しながら運用している状況でもありますが、今後改善していきます。 |
| ○委員 | 第1章第2節②市公式フェイスブックの平均リーチ数の中で、フォロワー数は増となっているが、増数が少ないと感じた。実際に、情報発信の内容を見たが、市民が必要としている内容なのか疑問に感じた。今後も現在と同じ取り組みをしていくのか、何か改善などの検討をしているのか。 |
| ●市 | フォロワーの増数が少ないのは、内容に興味がないなどの理由もあるかと思いますが、今後、興味をわくような、わかりやすい情報発信を行うため、動画での情報発信にも取り組む予定であり、SNSだけではなく、様々な媒体を通じて情報発信に取り組んでいきたいと考えています。 |
| ○委員 | 第4章でジオサイトなどの取り組みがあったが、駅構内の通路の展示スペースが有効活用されていないときが見られる。ジオスタゆざわにある展示物をそのスペースに展示することはできないのか。ジオスタゆざわを知ってもらいたい機会になると思う。 |
| ●市 | ジオスタゆざわにある展示物は貴重なものが多く、市民に触れてもらいたい機会になると思いますので、可能な限り対応していきます。 |
| ○委員 | SNSなどで、ジオスタゆざわなどの情報発信は行っているのか。 |
| ●市 | イベント開催の情報発信はSNSや広報などで行っていますが、今後は、具体的な内容についても、わかりやすい情報発信ができるよう取り組んでいきたいと思っています。 |

- 市 展示スペースの有効活用の検討、また、観光案内や展示施設などの連携がよくないとの意見も寄せられており、今後、つながりがよくなるよう取り組んでいきたいと考えています。
- 委員 学校でのジオパークや歴史などの学習を行っていると思うが、関心をもってもらうために、感想文などの展示や、媒体を通じて情報発信してもらうなどの取り組みはしているのか。
- 市 様々な活動について、その成果を発表する機会を設けており、学習発表会などを行っています。レポートなどは、市民ロビーやジオスタゆざわなどに展示していますが、今後、もっと市民の目に触れるよう取り組んでいきたいと思います。

案件（2）について

（事務局から資料について説明）

- 委員 「教育の振興」の中で、3年前から学校と地域住民が一体となって取り組んでいるコミュニティスクールの文言がなく、地域活動のためにも関連づけた内容の記載があればいいのではないか。
- 市 教育委員会と協議をして、内容に加えたいと思います。
- 委員 人材育成についてだが、自分の地区の中で、地域活動への若い参加者が少ない。地元の企業などから、若者が参加できるような取り組みができないか。また、学校教育について、自然や歴史などに触れられる見学などの事業や、担当者が出向いて特別授業を行うなどの取り組みをしてほしい。
- 市 地域づくりにおける人材育成ですが、世代によって関心のあるものが異なり、若い世代が興味をもたないのが現状かと思います。地元の企業も含め、地域に合った、地域住民が興味をもつ、様々なイベントや事業を検討していかなければならないと思います。
- 市 学校教育について、現在も、総合学習など様々な方法で行っていますが、郷土愛の醸成のためにも、今後も引き続き取り組んでいきます。
- 委員 最近の若い人は、目的を持ってないでいるように感じることもある。小さい頃から地域と触れる機会を増やすことが、若い人を育てるためにも大事なことはないかと思う。

○委員

岩崎の工業団地は、何社の誘致企業があるのか。

●市

現在、12社となっており、岩崎の工業団地はすべて埋まっています。今後は、令和2年に生活協同組合コープあきたが進出した、成沢の工業団地への誘致に取り組んでいきます。

●市

人材育成や職種体験などについて話がありましたが、様々な職種の先輩などから体験談を聞くなどの計画は一部の学校で行われているようですが、湯沢市全体としての取り組みが必要だと思えます。コミュニティスクールについては、「教育の振興」の「学校教育」という中に、明記したいと思えます。